

りんご「黄香」の裂果を軽減する摘果時期

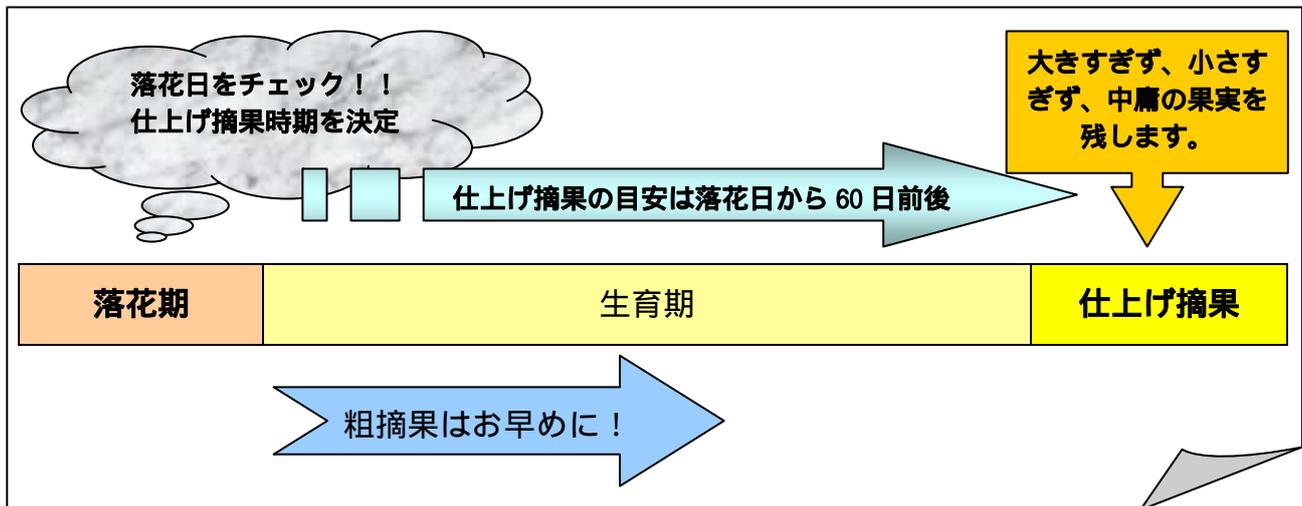
【1 成果の概要】

「黄香」は粗摘果をできるだけ早期に行い、落花 60 日後を目安に仕上げ摘果を行なうことによって、収穫期の裂果を軽減することができます。

(活用方法)

裂果を軽減する摘果時期は以下のとおりです。

- 1) 1 花そう 1 果とする粗摘果をできるだけ早期に行います。
- 2) 仕上げ摘果は落花 60 日後を目安に行ないます。
- 3) 以上の方法で、果実品質や翌年の花芽率を確保しながら裂果を軽減することができます。



【2 留意事項】

- (1) 適正着果数は、4～5 頂芽に 1 果とします。
- (2) 本試験では、全試験区で 1 花そう 1 果とする粗摘果を落花 10 日後に行いました。
- (3) 目標果実重は 400g 以下とします。
- (4) 仕上げ摘果の際には肥大の進んでいる果実も摘果の対象とし、中庸の果実に揃えることによって果実品質のバラツキを少なくすることも必要です。

【3 効果】

黄香の裂果軽減により、生産性の安定化が図れます。

【4 適応対象】

県下全域のりんご生産農家等